

<p>研修名</p>	<p>薬物乱用・依存関連問題専門研修 「依存症に関する基本的知識と回復支援に大切なこと～薬物依存症を中心に～」</p>
<p>講師</p>	<p>埼玉県立精神医療センター 副病院長 <small>なるせ</small> 成瀬 <small>のぶや</small> 暢也 氏</p>
<p>開催日時</p>	<p>平成 29 年 11 月 18 日(土) 13:30 ～ 16:30</p>
<p>開催場所</p>	<p>北九州市総合保健福祉センター 2 階 講堂</p>
<p>参加者数</p>	<p>101 名 (内訳: 行政機関、医療機関、相談支援機関等の職員)</p>
<p>研修の 内容等</p>	<p>「依存症に関する基本的知識と回復支援に大切なこと～薬物依存症を中心に～」というテーマに基づき、依存症の相談、支援に携わる方、関心のある方を対象に研修を実施した。</p> <p>研修では、依存症に関する基本的知識、埼玉県立精神医療センターでの取組みなども話しながら、依存症の背景にある人間関係の問題、治療者・支援者の望ましい対応等について、事例を交えながら講義形式で学んだ。</p> 
<p>参加者の 声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞くこと、信頼関係の大切さを再認識できました。治療が必要と思われる人との出合いを逃さず穏やかに待てる治療機関でありたいです。 ・優しい気持ちになれました。アルコールの患者さんだけでなく他の患者さんにもこのような気持ちで接していきたいです。 ・「依存症のプログラムがない」という理由で、治療をおこなえないということではなく、他の疾患と同じように関わり（関係構築）が大切であることが分かりました。 ・とてもわかりやすく、苦手と思っていた依存症の方に対する思いが変化できそうです。 ・依存症に対する治療は特別なものとして認識していましたが、他の精神疾患に対する治療と変わりなくケアすることが大切だと改めて考えることができました。 ・今日の講義を聞いて、自分の言動に陰性感情があったと内省するところです。信頼関係の構築、本音を言ってもらえる関係作りがこれからできたら良いと感じました。 <p style="text-align: right;">など</p>